



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2023年4月 vol.21

2018年4月から始まった Oasis meets Books (以下、OmB) も本号で5年が経ちました。これも皆様のおかげです。誠にありがとうございます。OmBを利用者様宅で貼っていただいている様子を見たりすると、とても励みになります。これからもよりよい1枚になるよう心を込めて作成してまいります。次号では数珠つなぎ150名達成を記念して、なかなかお願いするチャンスがなかった方々よりお勧めの本をご紹介いただく予定です。今後も「あなたにとっての1冊とめぐりあえますように。」 (教育委員会 委員長：前田 吉紀)

## 転生したらスライムだった件 / 原案：伏瀬 作画：川上 泰樹

### 特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 井狩 忠



本作主人公「スライム」の正体は、元大手ゼネコン勤務37歳日本人男性。ある日、後輩を庇い通り魔に刺され、転生し、スライムになる。

スライムと聞くとあまり強いイメージはなく最弱かと思いきや、相手の能力を奪う「捕食者」と、世界の理を知る「大賢者」という二つのスキルを手に入れ、どんどん食べてどんどん強くなっていく。そして、現代知識と能力を活用して、モンスターの国を創り上げていきます。現代日本のサラリーマンらしく、いろいろと人生経験を積んでいるため、仲間や敵とのやり取りや駆け引きも手慣れたもので、もどかしさを殆ど感じさせない、良い意味で安心感があります。種族、スキル、武器など各種設定の解説もしっかり書き込まれているので読みやすく、作品の世界観を楽しむことができます。私は漫画版をお薦めしていますが、WEB小説では完結しています。もし、続きが気になる方はWEB小説で読んでみるのも良いかと思います。



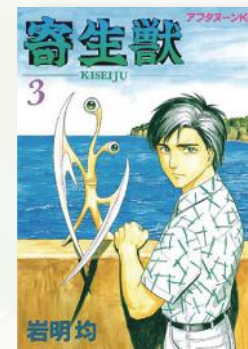
・次回⇒ 特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 外越 隆太

## 寄生獣 / 岩明 均

### 老健 配食 / ドライバー 藤原 一徳



元々、ちょっとグロテスクでリアルな絵が好みなのでこの本を手にとり、導入部分の意味深なナレーションと寄生生物の異形な造形に惹かれ、読み始めました。



高い学習能力をもつ寄生生物(パラサイト)による人間の脳に乗っ取り、捕食といった構成から、残酷な描写もありますが、一貫して環境問題や人間の行動原理への問いかけがあり、読み進めるうちに物語の面白さ、奥深さに引き込まれました。主人公「シンイチ」と、彼の右腕に寄生した相反する思考を持つ通称「ミギー」の、次第に移り変わっていく関係性、人間の欲望や葛藤、傲慢さがリアルに描かれ、一見、身勝手に思える各々の主義主張も立場を変えれば理解ができ、まるで自分自身に難題を突き付けられているようで、何度も深く考えさせられます。

さらには寄生生物はなぜ人間を捕食するのか、「寄生獣」というタイトルに込められた本当の意味とは…。物語の本質がすべてここに集約されています。人間関係に疲れた方にオススメです(笑) 【きみが寝坊したのは体が睡眠を欲していたからだろう…休むことはいいことだ/ミギー】

・次回⇒ 老健 配食 / ドライバー 越智 ひとみ

## シンプルに考える / 森川 亮

### デイケア オアシス寿安 / 介護士 野嶋 輝美



LINEの元社長の著書です。“「戦わない」「差別化は狙わない」「計画はいらない」「偉い人はいらない」「自分を守らない」本当に大切な1%に100%集中する”という帯が気になり、読み始めました。著者の仕事の流儀が項目ごとに説明されており、とても読みやすい本です。

### シンプルに考える



ビジネスの本質は、ユーザーが本当に求めているものを提供し続けることであり、そのために必要なものはユーザーが求めているものを感じ取る能力と、それをカタチにする技術を磨き続けること。重要なのは、世の中が必要とする価値の提供。現代社会の膨大な情報量に惑わされ、私生活、仕事、人生の目的など、複雑に考えすぎて何も進めなくなるよりは、いらないものは全部捨て、本質だけを追求する、という考えをとてもシンプルにまとめられている本です。深く考え過ぎてしまう私にはとても参考になりました。

・次回⇒ デイケア オアシス寿安 / 介護士 酒井 沙也加

## タイプ別対応でよくわかる 認知症ケア / 熊谷 頼佳

### グループホーム オアシスキズリ / 介護士 増谷 地菜



私がお薦めする本は「認知症ケア」です。この本には、認知症のタイプと特徴の解説や、タイプ別の適切なケアの仕方などが詳しく書かれています。



介護職員側の視点、認知症利用者様の視点の違いがイラストで描かれているので読みやすく、とても分かりやすいです。私自身、オアシスに入職して初めて介護に携わり、利用者様の気持ちを上手に汲み取ることができず、対応に悩むことがありました。この本を読んでBPSDへの対応、症状について学ぶことができ、大変勉強になりました。学んだ知識を生かして、利用者様が安心して穏やかに過ごしていただけるように、ケアに努めたいと思います。介護をしていく上で役に立つ内容ですので、ぜひ手にとってご覧ください。おすすめの一冊です。

・次回⇒ グループホーム オアシスキズリ / 介護士(特定技能) ニン・サン・ルン(ミャンマー)

## 道をひらく / 松下幸之助

管理本部 業務部 / 野村 英世

今回紹介させていただく本は、前職入社時に強制的に買わされた? (笑)「道をひらく」です。



入社して間もなく赤字事業に配属され、担当した業務にもやりがいを感じず、また自分自身の進むべき道もまったく見えず悩んでいた時、何気なく読んだ本です。

何処かで見覚えのある顔写真が載り、出だしからいきなり「経営の神様」といわれた人物の「自分には与えられた道がある、自分だけに与えられた道ではないか」等の言葉から始まります。

「当たり前のことが当たり前ができる」「なぜそれが必要なのか」また「何を感じ、何をすべきなのか」ということが文章や言葉を変えながら書かれたビジネス書、というところでしょうか。色々な場面で悩んだとき、苦しいとき、一助やきっかけを与えてくれた本であったと思います。

半世紀以上前に出版され、その後、世の中が大きく、物凄いスピードで変化する時代には合っていないかも知れませんが、今改めて読み返し、当時のことを懐かしく思い出させてくれた一冊です。

・次回⇒管理本部 経営企画部 / 事務(経理担当) 平野 絢子

## 西洋かぶれ—教育を誤って— / アブドゥール・ムイス

グループホーム オアシス平野 / 管理者 山田 尚章

本書はインドネシアの高等学校の課題図書に指定されていた一作で、小難しいタイトルですが、中身は少年の成長の物語です。恋愛要素もあります。…ハッピーエンドではありませんが。



オランダ植民地下のインドネシアで、オランダ式教育を受け、オランダにかぶれた主人公の誤った教育故の悲劇、植民地人の苦悩を描いた物語です。

作中では、周囲の忠告に耳を貸さず、オランダ人、インドネシア人双方から疎外された主人公が、友人との会話を通して自分の言動や考え方の誤りを悟り、後悔と自責の念に駆られます。

私はその会話中での「自己を悟ったものは、もう半分誤りを正したことになるだろう。」という主人公の友人からの励ましの言葉が強く印象に残っています。

物語では主人公が誤りに気付き、認めることが遅く、誤りを正すことができないまま悲劇を迎えますが、私たちは周囲の人々の言葉から学び、誤りを正すことで、悲劇を防ぐことができるのではないのでしょうか。

・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 榎本 英樹



## お坊さんになろう ところが調う 朝・昼・夜の習慣 / 平井 正修

老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 池田 夢

1日、1週間、1カ月とあつという間に過ぎていく日々の中で、色々な出来事に出会うと思います。楽しいことや嬉しいことも多くあると思いますが、思い通りに事が進まなかったり、やらなければいけない事に追われたり…。



この本には、そんなバタバタした日常を穏やかに暮らせるヒントや、不思議と心が静かになる言葉が書かれています。それに合わせて、お坊さんの日常や考え方についても分かりやすく触れられており、お坊さんの生活に因んで一般の私たちでも取り入れられる習慣を、色々と紹介してくれています。

また項目別に分かれており、少しの合間の時間にも読みやすくなっていますので、気になられた方は是非手にとって見てください。

・次回⇒老健 オアシス デイケア・ロング / 介護士 川井 ゆかり

## オアシス文庫 recommend



法律はみんなのためのルールであるにも関わらず、みんなが読めるように書かれていません。実際私は実用六法という本を使って法律の勉強をしていたことがありますが、書かれている内容が難しく、理解するために辞書で調べたりネットで調べたりととても時間がかかったことを覚えています。

テレビなどでも取り上げられたことがあるこの「こども六法」は憲法から刑法、民法、そしていじめ対策推進法などについて、こどもにも読めるように分かりやすく書かれています。

善悪を区別するために知っておくべき刑法や日常生活でトラブルになりがちな民法などについても、イラストやキャラクターたちの吹き出しを使って書かれています。また、この本の最後には、いじめで悩んでいるこどもたちへのメッセージが書かれており、いじめの違法性や立証のためのアドバイスが綴られています。

いじめや虐待などの悲しい事件が後を絶たないこの社会ですが、法律を知っていれば自分の身を守る、こどもを守るということがあるので、こどもだけでなく大人にもぜひ読んで欲しい一冊です。(教育委員会: 本田 有輝)

### 蔵書ご案内

こども六法 / 山崎 聡一郎

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出できます▶



## 編集後記

今月も色々な本のご紹介、色々なスナップ写真のご提供をありがとうございます。旅先の思い出や何気ない生活の一場面、職場で同僚が撮った笑顔、キリリとした一枚、どれもが全て素敵なワンショットです。オアシスの施設や事業所は10数か所があるので、紙面で「はじめまして」の方も多いのではないのでしょうか。今月は配食ドライバーの藤原さんが自画像を添えてくださいました!

初めての試みです。紹介の本になぞらえていて、まるで雑誌のコラムの挿絵のようです。皆さんもよろしければ是非、お得意の何か、はまっている何か、推している何か、と一緒に一枚をお寄せください。そして次の5年へ…。今後とも教育委員会の活動にご協力をよろしくお願いいたします。



教育委員会

(教育委員会: 中島美和子)